

中央市場の活性化後押し

小樽商大の科目「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト(マジプロ)」の市場の交流拠点チームが14日、中央市場2棟(稲穂3)で活性化イベント「中央市場を元気にする春まつり」を開催する。限定販売やクイズゲームなど大人も子どもも楽しめる内容を工夫。学生たちは「対面販売の良さを知ってほしい」と来場を呼びかけている。

(徳留弥生)

「商大マジプロ」あす春まつり



中央市場でイベントを開く市場の交流拠点チームの田中大貴さん(左端)ら

クイズや工作体験企画「対面販売の良さ知って」

マジプロが同市場の活性化に取り組むのは2016年に続き2回目。学生たちは2月末〜4月初めに数日間、市場を訪れる人の数を計測。親子の来店者が少ないことに気づき今回のイベントを企画した。

小学生のころ祖母とよく市内の市場に買い物に行っていたという同大2年で、メンバーの田中大貴さん(19)は「市場の閉鎖が進む現状はとても残念」と言い「市場には対面販売という特長があり、地域のコミュニケーションの場。なんとか今後も残したい」と思いを話す。

イベントでは当日限定商品を計7店舗で販売。通常は単品販売している各店の商品を組み合わせ、お得なセット価格で販売する。

クイズゲームは「旬の魚は何か」などの出題があり、お店の人と対話しながら進める形式とした。5問答えると駄菓子景品がもらえる。空き店舗を活用し、工作体験(25人限定)やスパーボールすくいの出店も行う。

午前10時〜午後2時。問い合わせは同大グローバル戦略センター ☎0134・27・5240へ。